

こんにちは いつもお世話になっております

三栄です

第81号

発行元



株式会社三栄サービス

発行人 紺野 琢生



古紙に紙以外の異物、古着やプラ製品の混入事案が多発しています！

前月号では、禁忌品による製品トラブルのお話をしました。最近では、古着など紙以外の物の混入によるトラブルが発生し、製紙会社で当社が収めた製紙原料の開梱検査が行われました。

もちろん当社では、加工時に選別をしておりますし、その前の回収の際に異物や禁忌品があれば取り除いておりますが、



人海戦術によるの開梱検査の様子

パッカー車で巻き込まれてしまった場合や、繁忙期に一時に大量の古紙が入荷した場合に、選別しきれずに混入してしまうケースがあります。

実際に開梱作業に立ち合いましたが、およそ1トンの雑誌の塊の中から、シャツやズボンといった古着類の他、DVDや、プラスチックのファイルなどが混入しているものがありました。線香や洗剤の箱など、臭いがきついものも混入していました。

こうしたものが混入しやすい背景には、古紙と古着を同時に回収していること、パッカー車の回収が増えたこと、紙袋や段ボール箱に入れたこと、ケースが増えたことも影響しているようです。

古紙は、ひもで縛って

出して下さいとお願いしておりますが、近年雑誌がみが増えたことにより、紙袋に入れたり、段ボール箱に段ボールや雑がみを

ごちゃまぜに出されるケースが多く見られます。段ボールは、箱のままでも出されると、中に発泡スチロールが入っていたり、蛍光灯がそのまま入っているケースがありますので、潰して畳んでひもで縛って出してもらうことをお願いしています。

また、雑がみを紙袋に入れて出してもらうことは問題ないのですが、中に不純物が入り込みやすいのも事実です。今回実



雑がみの袋の中に古着を一緒に入れた悪い例

際に開梱してみても多かつたのが、紙袋の下に古着を入れてその上に古紙を被せて出しているケースでした。古紙と古着は別々に集めて別々にリサイクルされますので、同じ袋の中には入れないようにお願いしたいと思います。もちろん、紙袋には、紙以外のものが混入しないように注意して下さい。雑誌の付録のDVDなども必ず取り外して下さい。海外のシングルストリーム（混合収集の方式）のようにごみから資源物を取り出すのとは違い、日本の資源リサイクルは、市民の皆様の分別、回収業者の分別回収、問屋での選別・検品と、三段階です。品質が良いとされるため、当社も選別を強化していますが、私たち業者と市民、行政がしっかりと手を組んで日本のリサイクルを守っていきけるようご理解とご協力をお願い申し上げます。

古着は、基本的にリユース（再利用）されます

先日、資源回収に出した衣類がネットオークションで売られていたというお問合せがありました。皆様は資源回収に出された古着は、そのまま国内外の古繊維問屋に出荷され、半分以上がそのまま再利用、残りは工業用の雑巾や、フェルト材に加工されています。再利用できるものは、古着屋やネット販売など、様々なルートで商品として流通します。このように古着は、原則そのままリユースされるとご認識頂き、次の誰かが着れるもの（破れ、汚れのないもの）を出して頂くよう、お願いします。

社員の退職のお知らせ

ここ二年ほど弊社で修行しておりました吉浦龍之介が、六月三〇日付で退職致しました。お世話下さった皆様ありがとうございました。七月から久米川紙業の後継者として頑張りたいと思います。